

学校だより

# ジャンボ、八幡っ子!

令和元年11月29日

市川市立八幡小学校

第9号 校長 吉野和雅

「冬木立」街路樹や一ヶ所にかたまっている木々の枝の隙間から、空が透けて見えるような木立の群れのことを表す言葉だそうです。寒々しい木々が立ち並び始めました。

時のたつのは早いものです。本年、最後の月となりました。12月は師走(しわす)とも称され、文字通り、師(先生)も走り回る忙しい時期だと言われます。

さて、谷川俊太郎さんの「いち」という詩があります。



▲どらサンタ

いちってね つまり ぼくがね いちなのさ ぼくは せかいで ひとりきり  
いちってね つまり ママがね いちなのさ ママは せかいで ひとりきり  
いちってね つまり きみもね いちなのさ ぼくと きみとで 2になるよ  
いちってね だけど ちきゅうは ひとつなの ぼくと きみとで てをつなぐ  
いちってね だから はじめの かずなのさ ちいさいようで おおきいな

算数科では「いち」は、「一番小さな数」と学びますが、谷川さんの詩は「小さいようで、大きいな」と結んでいます。12月は世界人権デーです。一人一人の「人権」について考える時に「いち」を意識することはきわめて大切です。小さくても大切な「人権」を子どもたちと一緒に考え、一年の締めくくりの月を過ごしたいと思います。

## 【12月行事予定】

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	日		16	月	
2	月	地域防災会議 18:00~	17	火	校外学習(6年生) そなエリア方面
3	火	校外学習(4年生) 佐原方面	18	水	
4	水	人権週間(4日~10日) 委員会 家庭教育学級	19	木	租税教室(6年生)
5	木		20	金	給食終了 大掃除
6	金		21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	冬休みを迎える会(11:45下校)
9	月		24	火	冬季休業(~5日)
10	火	安全点検日 ヘルシースクール講演会	25	水	市川市児童生徒合唱フェスティバル 市川市文化会館(10:00~) 合唱部
11	水	ことばの教室お楽しみ会			
12	木		1/6	月	朝会(12:00下校)
13	金	授業参観、保護者会 ホワイトスクール説明会(5年生)	7	火	短縮4時間(12:00下校)
14	土		8	水	給食開始 書初め大会 定例研
15	日		9	木	書初め大会

## ■ 校長室から

### (1) クサガメ君が交通事故に!

10月28日(月)、校長室のクサガメ君(2匹のうち小さいカメ)を学校の池に放したところ、極めて気持ち良い表情をしていました。そこで、池に放したまま、しばらく様子を見ることとしました。ところが、11月5日(月)、突然、クサガメ君が行方不明に…。その後、学校中を必死になって探しましたが、残念ながら11月10日(日)、京成本八幡駅の踏切の近くで交通事故に遭遇している姿が発見されました。その後、懸命な手当の甲斐もなく、クサガメ君は、天国に召されてしまいました。



「交通事故に絶対に遭わないで!」これは、クサガメ君の切なる願いでもあります。是非とも、気を付けてほしいと思います。

### (2) さすが八幡っ子です!

毎朝、子供たちは、大きなあいさつと元気な笑顔で登校しています。特に本年度より、登校時刻の8時10分に予鈴を鳴らしている成果でしょうか、8時10分を越えて遅れて登校してくる子供が激減しています。このことは、日々、感心させられることの一つです。また、9月より、菅野交番の原口 尚也 警部補が朝の登校指導に来校いただいています。とても心強い存在です。



## ■ ドレミファ集会、ありがとうございました!

本年度のドレミファ集会では、子供たちの頑張りをたくさん保護者、地域の皆さんに観ていただきたいと考え、11月12日(火)には「校内発表」を、16日(土)のオープンデーには「一般公開」を開催しました。



各学年の合唱や合奏では、子供たちは、練習の成果を思い切り発揮することができました。集会後、多くの保護者、地域の方々からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。このことは、子供たちの大きな自信に繋がると思います。また、オープンデーの一般公開はいかがでしたか。この一般公開では、保護者の皆様には、動画撮影をご遠慮いただくなど、ご理解とご協力いただき、ありがとうございました。

これからも、子供たちの頑張りをたくさん方々に観ていただける機会を大切にしていきたいと思います。

## ■ チェコ少女合唱団コンサート、夢のような時間でした!

まさに夢のような時間でした。11月25日(月)、世界最高の少女合唱団であるチェコ少女合唱団「イトロ」が八幡小学校にやってきました。「歌は心を育て、励まし、人生をも豊かにしてくれる」との言葉があります。まさに14歳から19歳までの選ばれた31名の団員による歌声には、人の心を揺さぶる不思議な力があると思いました。参観された70名を超える保護者を含む会場は、まさに夢のような時間を共有することができたと思います。また、コンサート終盤ではイトロと全校児童による合唱(おお牧場はみどり:チェコ語)も圧巻でした。その後、子供たちは、「交流会」や「給食交流」を通して相互の交流を深めました。本日のコンサートは、子供たちにとって、大人になっても決して忘れることのない学びになったと思います。

